

中橋真紀人氏のプロフィール

東京教育大学文学部卒業後、独立プロダクションの製作・配給活動に参加し、現在は企画制作プロダクション『イメージ・サテライト』の代表。

1997年に自主製作した重度重複障害者の福祉をテーマとするドキュメンタル・アニメーション「どんぐりの家」（原作・総監督：山本おさむ、音楽監督：千住明／第1回文化庁メディア芸術祭優秀賞受賞）は草の根方式で全国3300回・120万人を越える成果を上げ、障害者福祉の分野で大きな反響を起し、アジア太平洋諸国（韓国・タイ・マレーシアなど）にも広がる。また、国際交流基金により英語字幕版35ミリフィルムが制作されて諸外国でも活用されている。

1999年に日本で初めて、ろう者と聴者が共同して製作した劇映画「アイ・ラヴ・ユー」（監督：大澤豊・米内山明宏、主演：忍足亜希子／日本アカデミー協会特別賞；モスクワ映画祭招待作品）に参加し、製作上映委員会の事務局長を務める。

2002年には、夜間中学で学ぶ人々を記録した長編ドキュメンタリ「こんばんは」（監督：森康行、音楽：小六禮次郎、NR：倍賞千恵子／文化庁映画大賞、毎日映画コンクール文化映画賞）を製作。2003年に、車椅子バスケットの青春群像を描いた「ウィニング・パス」（監督：中田進一、音楽：千住明、主演：松山ケンイチ、堀北真希／東京国際映画祭参加作品、ジフォーニ国際映画祭招待作品）をHDデジタル・シネマとして製作。2007年に、「ふるさとをください」（脚本：ジェームス三木、監督：富永憲治、音楽：小六禮次郎、主演：大路恵美、精神障害者問題を扱う）の企画段階より製作を担当。2009年の全日本ろうあ連盟60周年記念映画「ゆずり葉」（脚本・監督：早瀬憲太郎＝ろう者の監督による一般劇映画で、メイン・キャストもろう者）の製作委員会メンバーとしてアドバイザー、配給・宣伝プロデューサーを担当。